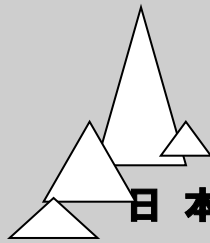


Nouth **E**ast

West

South



日本各地の話題

5年目を迎えた

昇竜杯オリエンテーリング大会

出場ランクが成績の蓄積で決まる昇竜杯オリエンテーリング大会が岡崎市のご協力により、須淵町の少年自然の家で開催され、132名の方が参加した。

岡崎市少年自然の家は学校や子供会などの利用が多い時期は一般の利用ができず、一般の利用ができるのは12月から2月までのわずか3か月。

昇竜杯を始めたころコースセッターをやっていた松澤さんがついにカップを手にした。女子は鳥羽都子さんが2度目の栄冠に輝いた。(写真)

R1の2位、3位に関東の藤生考志さん、福田雅秀さんが入るなど、R1は根気よく参加されている、30代から50代の方が上位を占めました。R3が上級者の入り口であるため、ここに属する方は90名に近い。また、新人の活躍で、中年以上の方は頑張ってもなかなかR2へ行けない問題がある。R3はもう少し上がりやすくするルールの見直しが必要な状態である。

ランクに関係なく同一クラブの上位3名の合計タイムで競うクラブ対抗戦や同じく市町村対抗戦も行われ、クラブ対抗戦は名古屋大学が1位、2位に東海中学、3位に東海高校が入った。市町村対抗は名古屋C(昭和区、東区など)が1位、2位が春日井市、3位は名古屋D(天白区、瑞穂区など)となった。中にはクラブ対抗と市町村対抗のダブルタイトルを獲得した参加者もいる。

また、前日と翌日が雨という中で天候に恵まれたことや、自然の家が、カーペットや石油ストーブを2基用意していただいたことで体育館の中は快適だった。



いやダニでは済ま されない



マダニ

最近4名がマダニから感染した感染症で死亡するという事故があり、にわかに注目されているマダニ。山野に生息し、血を吸うときに頭が皮膚に食い込み、なかなか取りにくく、時として頭が皮膚の中に残り、皮膚科で切開してもらわなければならないこともあるという厄介な生き物である。

それが最近ウィルスを媒介し、死に至ることもあるということが分かった。

われわれ山野を競技場とするオリエンテアの中ではあまり噛まれたという話は聞かないが、森林作業従事者とともに危険な状況下にある。

地表から1.5m以下のところに生息するので、とにかく皮膚、特に足をむき出しにしないことが大事。ズボンもソックスの中に入れるなどの念入りの防御が必要とのこと。また、レースが終わったら、できるだけ早く着替えることも大事。

暖かい季節のほうが活発なようでこれからが特に注意を要する。